

小林市における公共交通

宮崎県 小林市

総務部 総合政策課

榎木 隆博

藤田 博久

小林市の概要（総合計画抜粋）

《基本理念》

人々の知恵と融和で築くまちづくり

《将来都市像》

霧島の麓に人・産業・歴史・自然が息吹き

元気あふれる交流都市 小林市

《まちづくりの主要課題》

広域的な交通・立地条件を生かした産業機能の充実

人口	47,769人	面積	563.09m ²
世帯	19,780世帯	高齢化率	29.64%

平成24年6月1日現在

小林市の概要（位置）

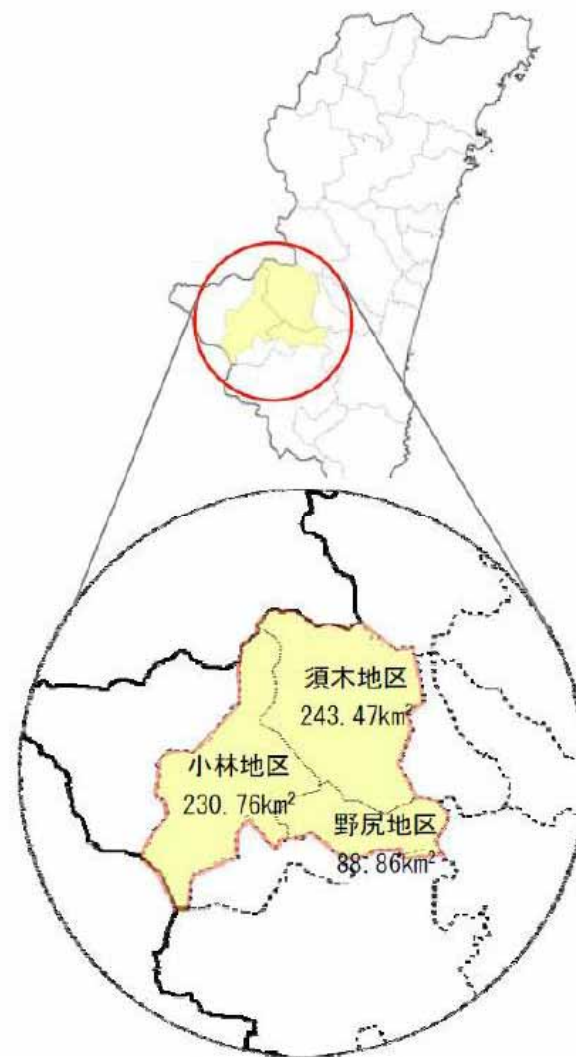
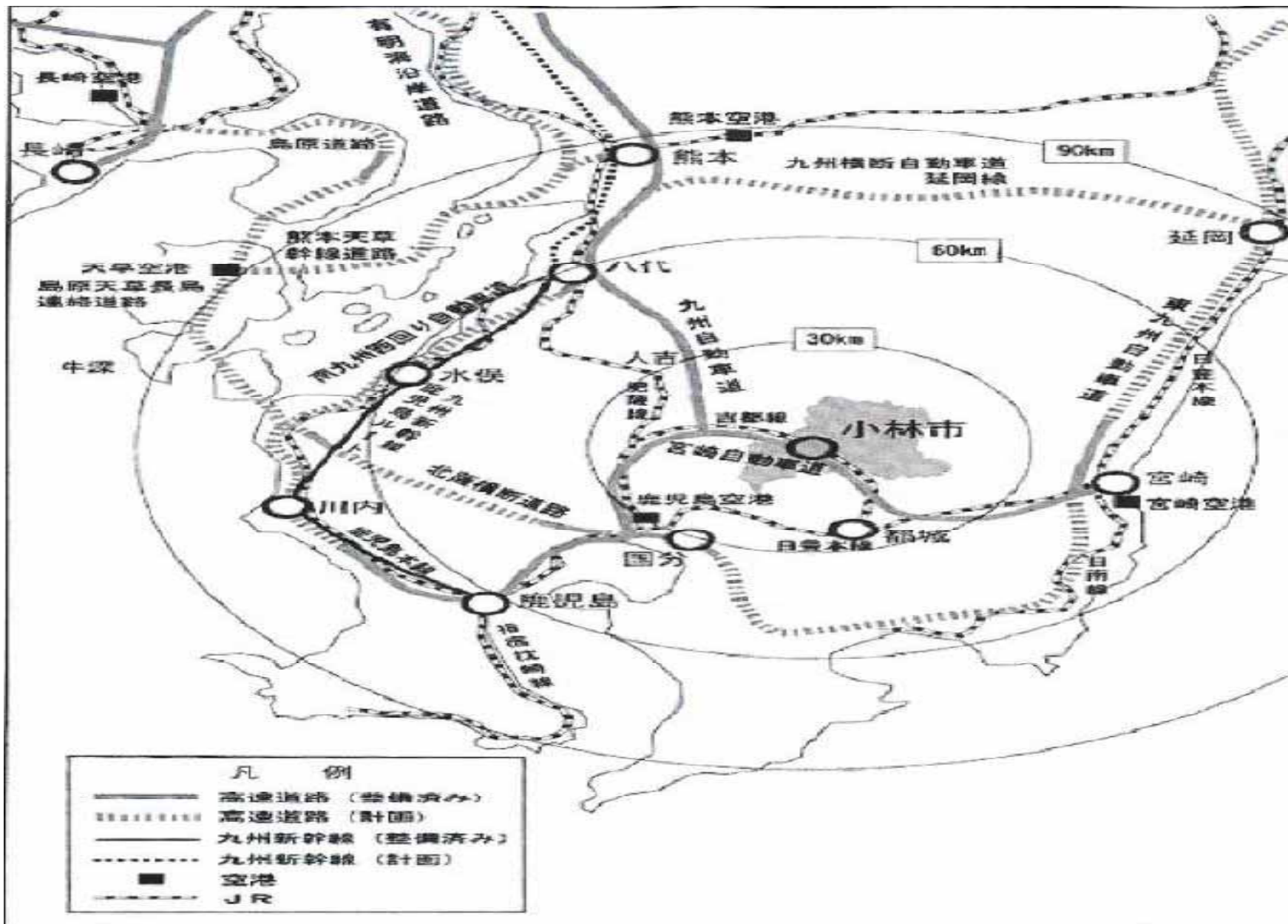


図 本市の位置

小林市の概要（交通）



コミュニティバス導入基本方針

《目的》

公共交通機関以外に交通手段を有しない高齢者等の交通手段を確保し、病院受診や健康増進等に寄与する。

既存のバス路線を再編し、利用者ニーズに応じた効率的な運営を行う。

《基本的な考え方》

地域住民のニーズに合った交通システムとする

他の公共交通機関との連携を考慮する

適切な受益者負担等による効率的で持続可能な運行方式とする

コミュニティバスの概要 1

《名称》

小林市コミュニティバス のりやいバス おうらい

《運行許可》

市町村運営有償運送（交通空白輸送）

《実施形態》

指定管理者制度の導入

《運行形態》

運行主体・・・小林市

運転業務・・・指定管理者（宮崎交通株式会社）

コミュニティバスの概要 2

《路線の拡充》

平成20年度・・・5路線

・・・地域公共交通ニーズ調査

平成21年度・・・11路線

《利用者意識の醸成》

広報紙による「路線別目標利用者数」の公表及び実績報告、
中間報告や市内で行われる祭りにて車両パレードの実施、
「市民年一回乗車運動」の展開

《各種割引制度や特典制度》

特殊定期券「こみパス」の導入

宮崎交通特殊定期券「悠々パス」の共通利用

高齢者免許証自主返納特典制度

経過

《19年度》 平成19年10月1日に市内5路線で試験運行開始

- ・以前は廃止代替バスで運行されていた。

《20年度》 平成20年4月1日に市内5路線にて実証運行

- ・地域公共交通活性化・再生総合事業認定（国）
- ・地域公共交通ニーズ調査を実施

《21年度》 平成21年4月1日に11路線へ拡充

- ・路線拡充に伴い従来路線の運行ルート及びダイヤ変更
- ・特殊定期券「こみパス」の販売開始

《22年度》 平成22年4月1日に一部路線変更

《23年度》 平成23年4月1日に一部路線変更

- ・高齢者免許証自主返納者特典制度を導入

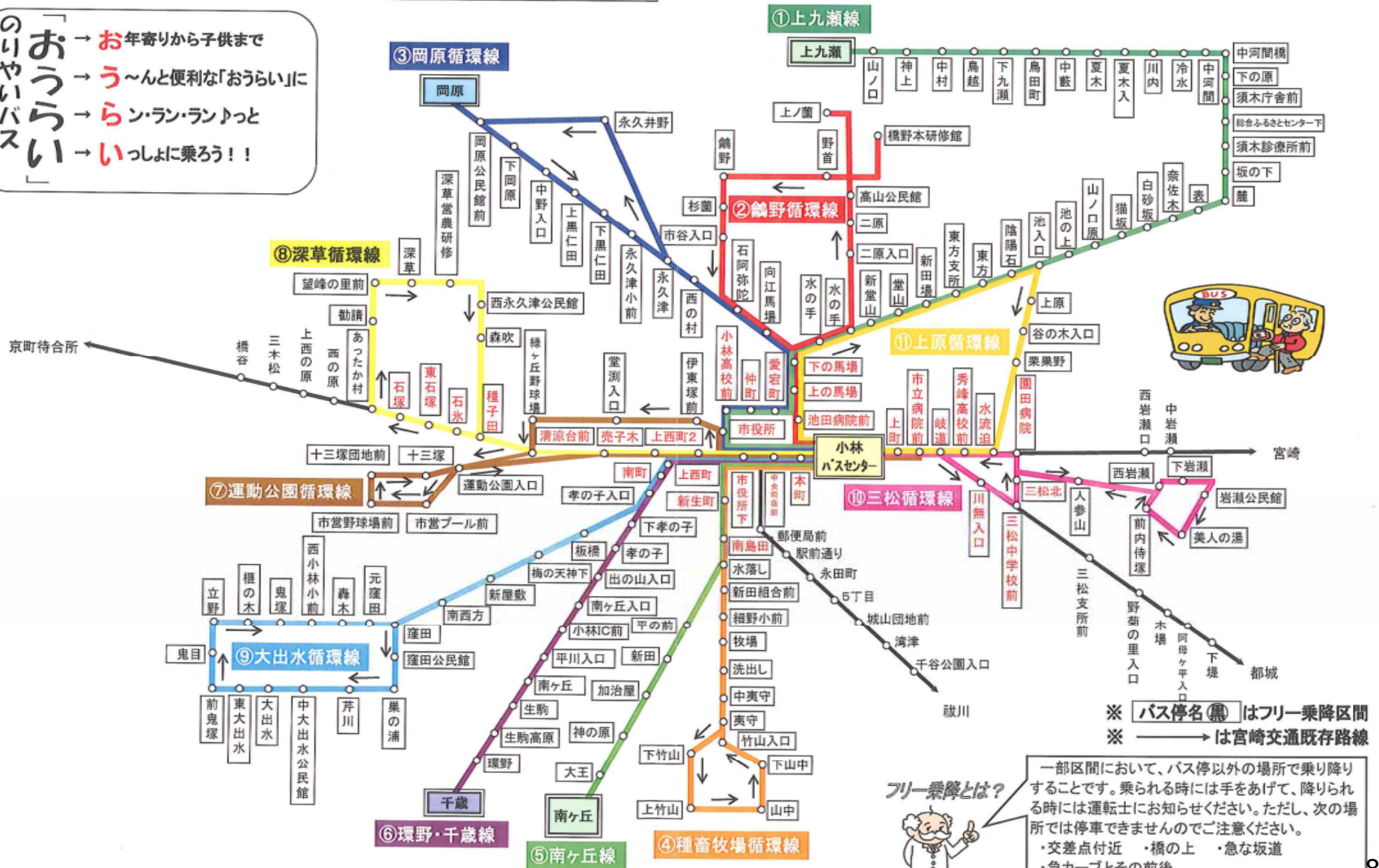
《24年度》 平成24年4月1日に一部路線変更

- ・沿線にある大型店舗との提携を検討中。（一店舗試行中）

コミュニティバス路線図

小林市コミュニティバス「おうらい」路線図

「おうらい」バス
 → お年寄りから子供まで
 → う〜んと便利な「おうらい」に
 → らんらん♪と
 → いっしょに乗ろう!!



※ **バス停名(黒)** はフリー乗降区間
 ※ **→** は宮崎交通既存路線



フリー乗降とは?
 一部区間において、バス停以外の場所で乗り降りすることです。乗られる時には手をあげて、降りられる時には運転士にお知らせください。ただし、次の場所では停車できませんのでご注意ください。
 ・交差点付近 ・橋の上 ・急な坂道
 ・急カーブとその前後
 ・その他運転士が運行上安全でない判断する時

コミュニティバス利用実績

	利用者数	料金収入	前年比 (利用者)	備考
平成19年10月 ～平成20年3月	13,806人	3,814,400円	—	5路線 6ヶ月間
平成20年4月～ 平成21年3月	24,189人	6,152,200円	-2,394人	半年分 のみ比較
平成21年4月～ 平成22年3月	24,800人	5,957,400円	—	11路線
平成22年4月～ 平成23年3月	24,338人	5,537,700円	-462人	
平成23年4月～ 平成24年3月	26,884人	6,215,400円	2,546人	

コミュニティバス分析

《運行経費・指定管理料》

21年度	22年度	23年度	24年度
13,430,600円	13,388,000円	13,276,000円	13,295,000円

導入以前の廃止代替バス等の路線補助金は3,400万円

指定管理方式を導入することにより、経費を大幅に削減（約60%減少）

《バス利用者の維持・増加》

20年度対21年度は路線数を増やしてはいるが、バスの台数の変更はなく、曜日の減少等を行い、利用者数は現状維持

21年度対22年度は口蹄疫や新燃岳噴火の影響により減少

22年度対23年度は11路線中7路線で増加し全体を通して10%増

特典制度等の導入、利用者ニーズに合わせたダイヤ改正

民間のノウハウを活用した運行方針（ダイヤ改正案作成等）

小林市における公共交通事業（H23実績）

歳入（補助） 4,515,000円

- ・ 地域公共交通確保維持改善事業（国） 2,728,000円
- ・ 地域公共交通機関運行維持事業（県） 1,735,000円
- ・ 地域公共交通活性化事業（県） 52,000円

歳出 24,317,099円

- ・ 役務費 57,160円
- ・ 委託料 13,330,069円
- ・ 使用料 46,000円
- ・ 需用費 104,870円
- ・ 負担金 10,779,000円
- ・ 補助金

小林市の今後の取組み予定

《定住自立圏構想》

今年3月に定住自立圏構想推進宣言（中心市宣言）を行い、近隣都市のえびの市、高原町と連携し事業に取り組むこととなりました。現在は連携事業の検討中です。その中には公共交通に関することも盛り込まれており、自治体間を越えた公共交通運行などの検討を予定しております。

《JR吉都線100周年事業》

吉松駅から都城駅までの間を走るJR吉都線において、今年10月で小林駅開業100周年来年10月が全線開通100周年となっており、沿線自治体で実行委員会を立ち上げるなど、全線開通100周年のイベント実施に向けて活動中です。

小林市においても独自に実行委員会を設立し、駅開業100周年から全線開通100周年の1年間、イベントを行う予定です。

ご静聴ありがとうございました。